


提出 順番	No. 6	令和 4 年 8 月 26 日 (午前)・午後 11 時 15 分受領
----------	----------	--

令和 4 年 8 月 26 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 谷口 和弥 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 「特定妊婦」へ向けた対策・支援について	<p>北海道内には、予期せぬ妊娠や経済苦で育児が困難となる恐れがあり出産前から支援が必要と市町村が認定した「特定妊婦」が、2021年度で931人いることが新聞報道で明らかにされた。また2019年度の297人から3倍以上に増加していることも明らかにされた。</p> <p>「特定妊婦」は児童虐待を防ぐため、2009年施行の改正児童福祉法で支援対象と明記された。市町村が妊娠届の提出時や妊婦健診、医療機関からの情報で把握に努め、年齢の若さや経済苦など厚生労働省の指標に照らし「特定妊婦」を認定することとされている。市町村が認定し、「要保護児童対策地域協議会」に登録されると、保健師らの家庭訪問の対象となるとされている。</p> <p>ついては、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 「特定妊婦」の認定については「認定の判断が地域で異なっている可能性がある」との指摘がされている。幕別町の「特定妊婦」の認定基準は。また、これまでの「特定妊婦」の認定件数は。</p> <p>(2) 幕別町における「特定妊婦」の支援のあり方は。また「幕別町要保護児童対策地域協議会」の開催頻度や「特定妊婦」に係る協議のあり方は。</p>
2 「幕別町高齢者保健福祉ビジョン」の推進状況について	<p>幕別町は老人福祉法、介護保険法に基づいて、その両方を一体化させ、2021年度を始期とし2023年度までの3か年計画である「幕別町高齢者保健福祉ビジョン2021」を策定した。「同ビジョン」は基本理念を「高齢者が健康で生き</p>

がいを持って生活し、介護が必要になっても住み慣れた地域で自分らしく、尊厳が失われることなく、安心して生活できることを精神とし、「地域包括ケアシステム」を深化・推進するために基本目標を設定したとされた計画である。

2020年1月末からの新型コロナウイルス感染症の第1波から現在の第7波までの期間、様々な感染症予防対策や行動制限がされてきた。そして今後も新型コロナウイルス感染症の終焉は見通せない状況である。

また、2021年8月からは高額介護・高額介護予防サービス費や補足給付の改正により、町民の一部には大幅な負担増となったケースがあった。「同ビジョン」の策定にあたっては、これらのことの想定は十分できるものではなかったと推察される。

ついては、以下の点について伺う。

- (1) 新型コロナウイルス感染症や利用者負担増が、介護保険サービス事業所の経営・運営にどのような影響があったか。
- (2) 同様の理由で介護保険サービス利用者がサービス利用を控えるケースは。また、利用控えによってサービス利用者のADLが下がってしまうようなケースがなかったかどうか。
- (3) 「同ビジョン」が開始され約1年半が過ぎた。「同ビジョン」の到達点は。

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。